

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】

.....

|                 |                                                                                                                               |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 事故・ヒヤリハットの別  | ヒヤリ                                                                                                                           |
| 2. 体験した事例の名称    | 前方を走行していた軽自動車が一端左側に寄ったが、突然右に飛び出したため衝突しそうになった。                                                                                 |
| 3. 体験した事例の中心的要素 | 傷病者を搬送途中、前方を走行していたトラックと軽自動車が左側に寄ったため、反対車線から追い越そうとしたところ、突然軽自動車がセンターラインに進路変更したため衝突しそうになった。<br>急ブレーキをかけ停車し衝突は免れ、傷病者・隊員ともけがはなかった。 |
| 4. 体験した事例の原因・理由 | 救急車に道を譲ったと早合点したこと。                                                                                                            |

【体験した事例の直接的原因について】

.....

|                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 1. 体験した事例の直接的な原因 | 行動の意志決定に問題があった。 |
|------------------|-----------------|

【体験した事例について】

.....

|                                  |                          |
|----------------------------------|--------------------------|
| 1. 発生日時                          | 平成 20 年 8 月 12 日 午後 1 時頃 |
| 2. 発生した当時の天候                     | 晴                        |
| 3. 発生した活動現場                      | 屋外：                      |
| 4. 体験した事例の種類                     | 回答者が、自分自身で負傷した。          |
| 5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）  | 重傷の怪我をしていた（させていた）だろう。    |
| 6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）     | 交通事故、                    |
| 7. 事例体験時の活動                      | 救急 [ ]                   |
| 8. （7の活動中）<br>どのような作業中に発生したか     | 搬送中、                     |
| 9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。 | 初めて体験した。                 |

## 10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

|                        |                                                                                 |
|------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| ○当事者 A                 | 年齢[ 46 ]歳、 勤続年数[ 29 ]年、 現場経験年数[ 28 ] 年、 階級[ 消防司令補 ]、<br>同様の活動 [ 頻繁 ]、 任務 [ 車長 ] |
| ○当事者 B                 | 年齢[ 35 ]歳、 勤続年数[ 11 ]年、 現場経験年数[ 9 ]年、 階級[ 消防士長 ]、<br>同様の活動 [ 頻繁 ]、 任務 [ 隊員 ]    |
| ○当事者 C                 | 年齢[ 26 ]歳、 勤続年数[ 4 ]年、 現場経験年数[ 3 ]年、 階級[ 消防士 ]、<br>同様の活動 [ 1 年に数度 ]、 任務 [ 機関員 ] |
| その他<br>(当事者が 4 人以上の場合) |                                                                                 |

## 11. 事例発生経過。

|       | 誰(何)が | なにをした                                  | その他・備考など |
|-------|-------|----------------------------------------|----------|
| 経過 1  | A     | 傷病者管理中、急ブレーキのため酸素収納ボックスにぶつかったがけがはなかった。 |          |
| 経過 2  | B     | 助手席に乗車していたが、けがはなかった。                   |          |
| 経過 3  | C     | 機関員で運転中急ブレーキをかけ衝突を免れけがはなかった。           |          |
| 経過 4  |       |                                        |          |
| 経過 5  |       |                                        |          |
| 経過 6  |       |                                        |          |
| 経過 7  |       |                                        |          |
| 経過 8  |       |                                        |          |
| 経過 9  |       |                                        |          |
| 経過 10 |       |                                        |          |

【その事例発生時の状況について】

.....

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

その他：スピードが40km程度で衝突も免れたためけがに至らなかった。

## ○心理・体調について

a. あせりを感じていた

|                                       |     |
|---------------------------------------|-----|
| ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。 | いいえ |
| ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。         |     |
| ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。              |     |

b. 注意力が欠如していた

|                                  |    |
|----------------------------------|----|
| ・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。       | はい |
| ・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 |    |
| ・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。             |    |

c. 経験・知識が不足していた。

|                            |    |
|----------------------------|----|
| ・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。     | はい |
| ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | はい |
| ・活動に対する経験が不足していた。          | はい |

d. 心身の不調があった

|           |     |
|-----------|-----|
| ・体調が悪かった。 | いいえ |
| ・悩み事があった。 | いいえ |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

|                      |     |
|----------------------|-----|
| ・装備・資機材自体に問題があった。    | いいえ |
| ・装備・資機材の使用 방법이誤っていた。 | いいえ |
| ・装備・資機材の対処能力を超えていた。  | いいえ |
| ・必要とする装備・資機材がなかった。   | いいえ |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| ・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。       | いいえ |
| ・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |

g. 行動しにくい環境だった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・狭隘な場所であった。      | いいえ |
| ・暑かった（寒かった）。     | いいえ |
| ・野次馬が多かった。       | いいえ |
| ・現場周辺の地理に不案内だった。 | いいえ |

h. 足場が悪かった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・足元が躓いたり滑りやすかった。 | いいえ |
| ・足元の強度が不足していた。   | いいえ |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

|                                     |     |
|-------------------------------------|-----|
| ・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）           | いいえ |
| ・指示内容に誤り・偏りがあった。                    | いいえ |
| ・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。） | いいえ |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

|                |     |
|----------------|-----|
| ・隊員の連携が不十分だった。 | はい  |
| ・隊員が不足していた。    | いいえ |

○その他

l. その他の理由があった。

|  |
|--|
|  |
|--|

